|  |
| --- |
| 研修名：若手教師による学び合いで教師力を高める研修  ～「課題探究的な学習」を取り入れた授業の充実～ |

|  |
| --- |
| 目　的：授業開始15分間において、子どもが事象へ働きかけながら、自ら課題を見出すことのできる「導入」の在り方について学ぶ |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学校種 | 小・中学校 | 研修時間 | 30分 |
| 対　象 | ・「課題探究的な学習」の授業展開に悩みを抱えている若手教師  ・先輩教師及び研究・研修を担当している教師 | | |
| 配付物 | ・学習指導案（若手教師作成案・先輩教師作成案） | | |

■　展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時　間 | 主　な　内　容 | 備　考 |
| （事前）  ２分  ５分  17分  ５分  １分 | １　若手教師・先輩教師の授業導入場面（15分間）を参観  ○　参観の観点  ・子どもが興味・関心、疑問を十分にもっているか。  ・子どもが意欲を持続させることのできる課題であったか。  ２　オリエンテーション  ミニ研修の目的を確認する。  ３　演習（メモ）：個人  　○　若手教師・先輩教師のそれぞれの授業について、課題を見出す導入場面を「参観の観点」をもとに振り返る。  ・効果的であった手立て  ・より有効な手立て  ４　協議：全体交流（若手教師による学び合い）  ○　演習内容について協議  　・提示資料の内容・方法・タイミング  　・子どもの実態等と課題の設定  ５　先輩教師から助言  ○　「参観の観点」から助言  　・課題設定の意図  ・導入場面の手立ての意図  ・導入場面における様々な工夫  ６　まとめ  研修内容を日常の実践へ生かすよう促し、研修のまとめとする。 | ※「参観の観点」を明確にする。  ※授業を参観して、思ったことや感じたことを積極的に発言することで、授業を見る目を養う。  ※協議したことや助言されたことを、自分の学級や授業で実践するよう促す。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 期待される効果 | 「課題探究的な学習」を取り入れた授業の充実に向け、授業の導入場面に絞った参観及び研修をすることで、事象への働きかけから課題の把握・設定に至る授業展開について焦点化して学ぶ効果が期待できる。他にも、「活動場面」「授業後半」等を参観し、本展開と同じような研修を実施することが可能である。また、本研修の効果を得るために一番大事にしたいことは、「学んだことを実践すること」である。 |